

ハンドガン ライフル ジャッジトークマニュアル ブルズアイ競技

メインジャッジ兼サブジャッジ	サブジャッジ
メインジャッジのコール：(以下、「赤文字」で示す) 「ブルズアイ競技の選手は、レンジにお入りください」	
選手がレンジ内に入ってきたら、 ①パーソナルデータと②ターゲット2枚を受け取る。パーソナルデータ⇒ナンバー・名前確認 ターゲット⇒ナンバー・名前・射撃の順番(1・2)の記入を確認すること ↓ 競技開始前の安全確認(銃口カバー／ゴーグル等装着) ↓ ターゲット2枚を受け取ったら、第1ターゲットをセットする。 第1ターゲットのセット後、ターゲット面を指で軽く押し、赤いランプの点灯、消灯を確認する。	
ターゲットのセッティング完了+レンジ内立入りなしを確認 ↓ 「銃口カバーを外してください」	
「セフティをかけた状態で一度だけサイティング練習を行ってください」	
自分の担当選手がサイティング練習を完了したかどうか、確認する。そして、すべてのサブジャッジが合図をしたか確認する。	自分の担当選手がサイティング練習を完了したら、手を挙げてメインジャッジに合図をする。 メインジャッジが了解した時点で、手を下ろす。
「スタンバイ姿勢でお待ちください」 ↓ 選手がスタンバイ姿勢をとったのを確認。すべてのサブジャッジの合図(挙手)を確認する。	選手がスタンバイ姿勢をとったのを確認し、手を挙げてメインジャッジに射撃準備完了を知らせる。 メインジャッジが了解した時点で、手を下ろす。
「ブルズアイ競技 第1ステージ スタンバイ・レディ・ゴー！」	・ゴー!と共にストップウォッチを作動させる。 ・「レディ」で腕を上げた選手には、注意すること。 ・競技中、残り弾数・経過時間について質問されたときに答えられるよう、心がける。
「1分経過」「1分30秒経過」	
自分の担当選手が「競技終了!」コール前に5発、発射を終えたら、「競技終了です。」と伝える。 続いて「セフティをかけ、銃口カバーを付けてお待ちください」と伝える。	
「競技終了!」	★ストップウォッチのリセット忘れずに。

<p>ターゲットを交換する。選手の希望があった場合、第1ターゲットを見せる。 ★第2ターゲットセット後、再度ターゲット面を指で軽く押し、赤いランプの点灯、消灯を確認する。</p>	
<p>ターゲットのセッティング完了+レンジ内立入りなしを確認 ↓ 「銃口カバーを外してください」</p>	
<p>第2ステージは、第1ステージと同様に競技を行うが、次の点が異なる。 ★第2ステージでは、サイティング練習は行わない★</p>	
<p>「競技終了！」 「セフティをかけ、銃口カバーを付けてください」</p>	<p>★ストップウォッチのリセット忘れずに。</p>
<p>第2ターゲット取り外しに向かう際、ジャッジはパーソナルデータを選手に渡して、レンジから退出してもらう。</p>	

付録：ブルズアイ競技・記録欄の記入例

1. ノーマルな記入例

BB弾がターゲットに当たると、ランプが赤く点灯する。  
 ランプが点灯したらマル (○) を、  
 ランプが点灯しなかったらバツ (×) を、それぞれ記入する。

【記入例】  
 第1ターゲットの2発目を外したものの、あとは全てターゲットに当たったときの例。

BULL'S-E			
第1 ターゲット THE FIRST		第2 ターゲット THE SECOND	
1	○	1	○
2	×	2	○
3	○	3	○
4	○	4	○
5	○	5	○

2. 特殊な記入例

第1ターゲットに対して、選手が早めに5発撃ち終え、サブジャッジが「競技終了」と伝えようとした際に、誤って、もう1発発射してしまったケース。これは、オーバーショット（5発を超える射撃）というファールとなり、ペナルティを課される（最高点の2倍を減点する）。

BULL'S-EYE GAME (ブルズアイ競技)			
第1 ターゲット THE FIRST	第2 ターゲット THE SECOND	F O U L	1
		銃口カバー・セフティ・マズル・トリガー・コッキング・ゴーグル・ライン・姿勢	W
		ドライファイア (時間外)	-5
1	1	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1発	-H
2	2	● オーバーショット (オーバー加算)	-2H
		T タイムオーバー (オーバー加算)	-H
3	3	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1発	-H
4	4	● オーバーショット (オーバー加算)	-2H
		T タイムオーバー (オーバー加算)	-H
5	5	○: 当たり    ×: 外れ    B: 暴発 ●: オーバーショット    T: タイムオーバー	

ここにマルをつける